

工事説明書

このたびは、本製品をご採用いただき、まことにありがとうございます。
 取り付け工事をおこなう前に、本書をよくお読みの上、正しく施工いただきますようお願いいたします。
 施工のあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

目次	ページ
1. 安全上のご注意	1
2. 器具の取り付け	2
3. 施工後の確認	11
4. 仕様・寸法図	12
5. 構成図	14



SP1700J (兼手付)

2022.2

1 安全上のご注意

ご使用前に、この「工事説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
 ここに示した注意事項を守らないと、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
 いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
 施工完了後、試験運転を行い異常が無いことを確認してください。
 また、この「工事説明書」は、お客様で保管いただくようお願いさせていただきます。

表示内容を誤読して誤った使い方をした時に生じる危害や損傷の程度を次の表示で説明しています。

	この表示は「傷害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。
--	---

お守りいただく内容を次の絵表示で区分し説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

< 施工前の確認事項 >

注意	
	施工前に必ず仕上げ壁厚さをご確認ください。 本製品は仕上げ壁厚さが9.5mm～15mmまでの対応です。
	壁内空間は40mm以上を確保してください。
	水栓に接続する継手や配管の経路が、ボードや下地材等に干渉しない事を確認してください。
	本製品は室内専用です。屋外に取付けると凍結による漏水や凍結による破損が生じる恐れがあります。

施工の前には必ず「工事説明書」を熟読し、正しく施工してください。
 また、この内容は保証書の対象外となります。あらかじめご了承ください。 丸印は注意の付いた箇所を示しています。

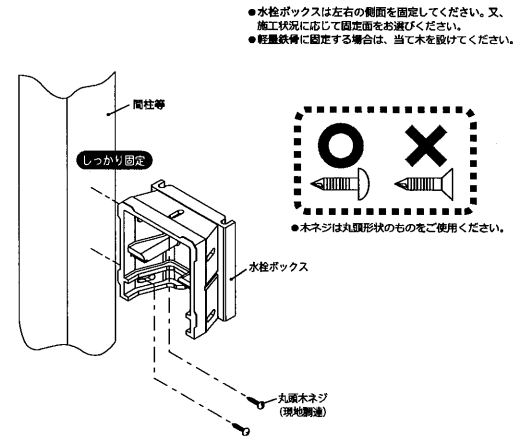
-1-

2 器具の取り付け

1. 水栓ボックスの取り付け

[床下配管の場合]

1. 水栓ボックスを下図のように下部が開く向きでしっかりと固定します。



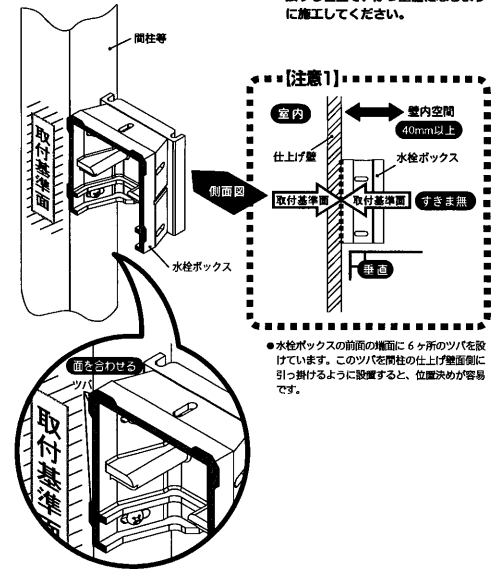
- 水栓ボックスは左右の側面を固定してください。又、施工状況に応じて固定面をお選びください。
- 軽金属に固定する場合は、当て木を設けてください。

●ネジは丸頭形状のものをご使用ください。

丸頭木ネジ (現地調達)

-2-

※水栓ボックスの取り付け位置は水栓ボックスの前面が仕上げ壁の内側に接する位置で、かつ壁面になるように施工してください。

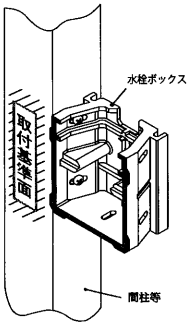


[注意1]
 室内 ← 壁内空間 (40mm以上)
 仕上げ壁
 水栓ボックス
 取付基準面
 取付基準面
 すきま無し
 壁
 壁をむきかえり
 ツバ
 ●水栓ボックスの前面の壁面に6ヶ所のツバを付けています。このツバを間柱の仕上げ壁面に引っ掛けるように設置すると、位置決めが容易です。

-3-

[天井配管の場合]

水栓ボックスを右図のように上部が開く向きで、水栓ボックスの前面が仕上げ壁の内側に接する位置で、かつ壁面になるように施工してください。



< 水栓ボックス取り付け上の注意事項 >

注意	
	水栓ボックスの間柱への固定には、接着剤(清剤)は使用しないでください。使用しますと水栓ボックスが変形し強度が低下したり、取り付けが正常に行えなくなる恐れがあります。
	水栓ボックスはビスにて必ず2点で固定してください。固定不足によるガタツキにより部材の破損が生じ、漏水の原因となります。
	水栓ボックスはガタツキが無いように壁面に取り付けを行ってください。固定不足によるガタツキにより部材の破損が生じ、漏水の原因となります。

-4-

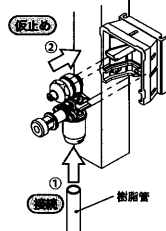
2. 管の接続及び本体の固定

1. 配管と水栓本体を接続する前には必ず配管の通水を行い、配管のゴミ・砂等を完全に洗い流してください。
2. 水栓本体と配管との接続を行い、接続後、水栓ボックスの前面より水栓ボックスの上面の凸溝と水栓本体側面の凹み部分を嵌合させながら奥の当たりまでスライドさせ、水栓本体の凹み部分両側 2ヶ所に付属の固定ビス(座金無し)を仮止めしてください。

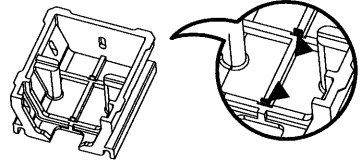
[床下配管の場合]

- この段階では水栓本体と水栓ボックスを固定するのは、「仮止め」としてしてください。
- 樹脂管用ワンタッチ継手が付いています。継手の詳しい取扱いには当社「アレスフィット」のカタログ等をご覧ください。

※E種管にはご使用できません。

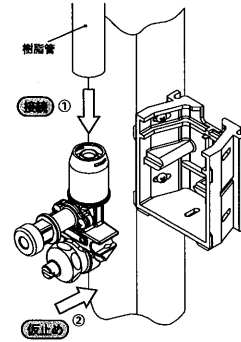


※仕上げ壁厚さが9.5mmの場合は、水栓ボックスの内側の2ヶ所の突起部を根元から折って取り除いてください。



-5-

[天井配管の場合]



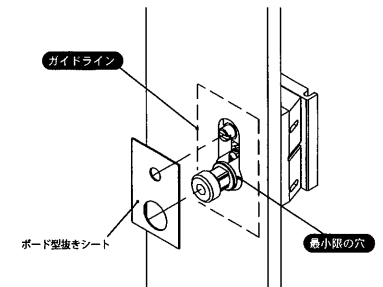
※次工程の仕上げ壁施工時まで、使用していないパーツを含む全ての部品は大切に保管願います。

< 配管接続時の注意事項 >

	配管の接続作業は水栓本体を水栓ボックスに固定した状態で行わないでください。固定したまま押し締めると水栓ボックスが破損する恐れがあります。
	0.75MPa以上の水圧をかけないでください。器具を破損する恐れがあります。
	水栓本体と水栓ボックスを固定するビスは、何度でも締め付けしないでください。過度に締め付けを行うと水栓ボックスの凸溝が変形を起こし、その後の水栓の位置の微調整に支障が出る恐れがあります。
	取り付け後の耐圧検査の際は、二次側G1/2ネジにキャップ等で封をして下さい。

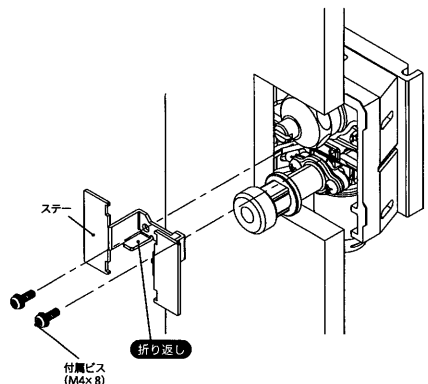
3. 仕上げ壁施工

1. 最初に仕上げ壁施工時に干渉する水栓本体の突起部(ハンドルとG1/2ネジ)を避ける為、最小限の穴を開けてください。
 - ガイドラインより大きな穴を開けないように注意してください。
 - 仕上げ壁施工前に穴を開ける場合は、寸法図を参照してください。
2. 同梱の型抜きシートを使用して、ガイドラインに沿って穴を開けてください。



4. スターの取り付け

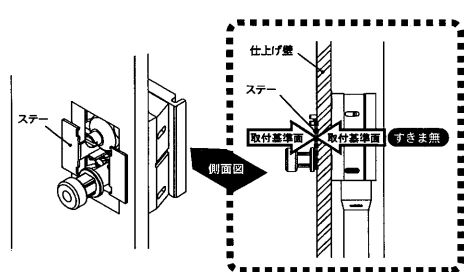
1. 水栓本体に仮止めておいた固定ビスをゆるめ、水栓本体のスライド調整が可能な状態にしてください。
2. 水栓本体とスターを付属ビス（座金なし）でしっかり取り付けてください。



! 水栓本体とスターを取り付ける際は、ビスの脱落を防ぐ為、折り返しが下にくる様、取り付けてください。

5. 水栓本体の固定

1. スターの裏面を仕上げ壁にあて水栓本体の位置を最終調整してください。

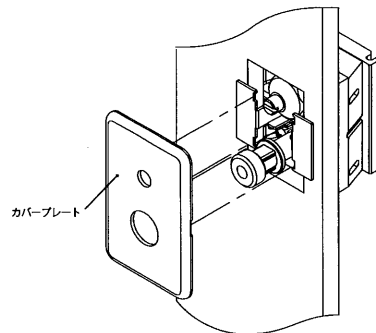


- !** 水栓本体を水栓ボックスに固定する際は、電動ドライバー等を使用しないでください。水栓ボックスを破損する恐れがあります。
- !** 水栓本体を水栓ボックスに固定する際は、スター裏面と仕上げ壁の間に隙間が無い様、固定してください。カバープレートが浮き上がる恐れがあります。

6. 仕上げ

1. カバープレートをスターのミソ（4ヶ所）に取り付けてください。
2. カバープレートが容易にはずれないが確認してください。

●取り付け後は必ず本体のカタツキ、及び操作の確認を行ってください。



<カバープレート取り付けの際の注意事項>

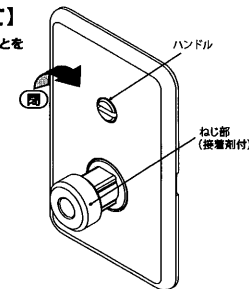
- !** 仕上げ壁に穴を開ける寸法は必ず、型抜きシートか寸法図の指定どおりに開けてください。開口部が指定寸法と異なる場合、開口部を開ききれず隙間が開いたり、取り付けが正常に行えなくなる恐れがあります。

3

施工後の確認

【ハンドルについて】

- ハンドルが固まっていることを確認してください。



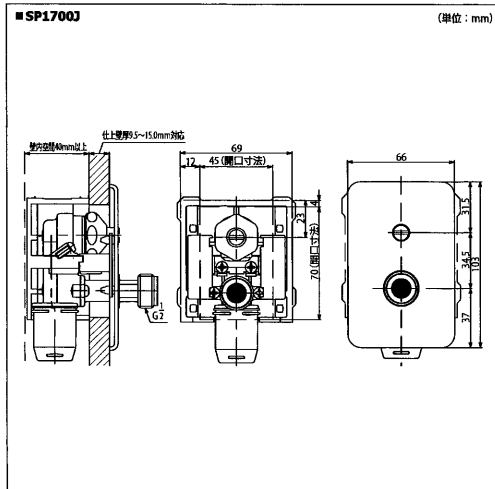
- !** 0.75MPa以上の水圧をかけないでください。器具を破損する恐れがあります。
- !** ねじ部の接着剤が完全に固着するまで触らないでください。固着不足による漏水の原因になります。(接着剤の固着時間:おおよそ72時間)
- !** ねじ部に部材を接合する場合、必ず二丁掛けを行い施工後容易にゆるまないよう注意して締め付けてください。締め付け不足の場合、ねじがゆるみ漏水が発生し、家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。(締付トルクの目安:25~30N・m)
- !** ねじ部に部材を接合する際、ねじ部にコーティングした接着剤が削れ出ることがありますので、その場合はウエス等で拭き取ってください。
- !** ねじ部の締め付け後、ゆるめて再締め付けは接着剤の効果が失われますので、ご注意ください。

4 仕様・寸法図

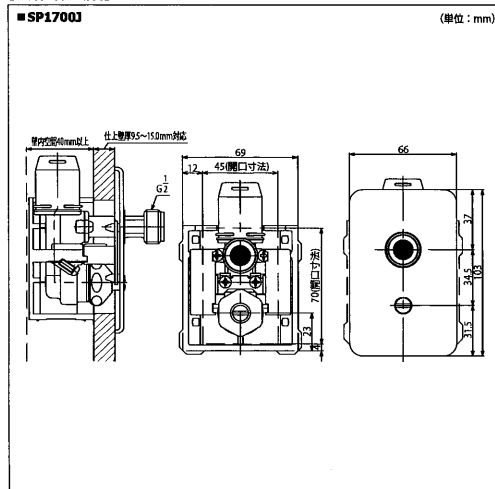
クールコック	SP1700J	継手付
--------	---------	-----

<取付条件>
 室内空間:40mm以上
 対応最大水圧:0.05MPa~0.75MPa
 天井配管対応

【床下配管の場合】

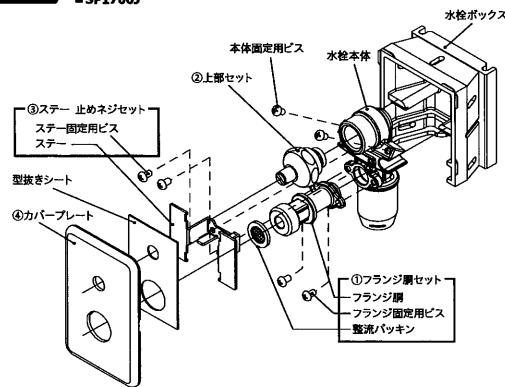


【天井配管の場合】



5 構成図

■SP1700J



<メンテナンス対象部品>

番号	商品コード	品番	品名
①	17975300	SP1700J-FS	クールコック フランジ調セット
②	17975301	SP1700J-JS	クールコック 上部セット
③	17975302	SP1700J-ST	クールコック スター 止めネジセット
④	Y1653301	1653301	SP1700 カバープレート

! 仕様は予告なく変更する場合があります。最寄りの当社支店または営業所へご確認ください。

普段のお手入れ

いつまでも美しくご使用いただくために...

- 日常のお手入れは、柔らかい布を水またはぬるま湯に浸しよく絞った後、汚れをふき取ってください。

! 洗剤、溶剤等がからまないようにしてください。ハンドル、カバープレート等の樹脂部品の変色または破損の原因となります。

安全上のご注意

- 水栓が凍結により破損し、水漏れにより財産損害発生恐れがあります。
- 凍結の恐れがある場合には、配管、水栓内の水を抜くなど凍結対策を行ってください。
- 又、水栓から少量の水を出すことで凍結を予防できる場合があります。
- 凍結による破損は有料修理となります。
- 長期間使用しないときの急な冷え込みに備えて凍結予防を行ってください。

点検・メンテナンス

使用年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
お客様による日常のお手入れ・点検	○											
消耗部品の交換 (フランジ調セット、上部セットなど)	○											
磨耗劣化部品の交換 (カパプレートなど) (工事費または送料別途)	○											

- 本書をお読みになったあとは、大切に保管ください。
- 内容は予告なく変更する場合がございます。

修理が必要の際は、お求めいただいた工事店にご依頼ください。商品についてご不明な点がございましたら、下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

株式会社 クラブチ 商品のお問合せは **0120-481-130**
(本社/工場) 〒547-0023 大阪市平野区山崎南2丁目1-55
 (支店) 福岡 札幌 仙台 新潟 宇都宮 さいたま さいとう 北九州 東京 横浜 名古屋 京都 大阪 神戸 岡山 広島 福岡 鹿児島 沖縄
 受付時間: 9:00~18:00 (土・日・祝日・夏季休暇・年末年始を除く)